

高校生政策アイデアコンテスト 要約

番号	No.1	チーム名	森 結紀菜	高校名	新居浜西高校
テーマ	爆誕♡New新居浜				
要約	高校生を対象に実施したアンケート結果から、施設認知度を高め、開設後の利用者を増やすための取り組みを提案。施設の愛称・キャラクター公募や、子どもからお年寄りまで参加できるイベントを企画し、施設認知度の向上を図る。				

番号	No.2	チーム名	しゃま馬	高校名	新居浜東高校
テーマ	「みんなでつくる未来の子育て施設」～愛称公募と完成カウントダウンプロジェクト～				
要約	施設完成前から市民が親しみをもち、期待感を高める必要がある点に着目。令和8年度から施設完成の令和10年度まで、愛称公募や高校生によるSNSでのカウントダウンを発信し、完成前から施設への愛着形成を図る。				

番号	No.3	チーム名	ぎょうざ	高校名	新居浜東高校
テーマ	「こども・子育て複合施設」への市民の期待度を高めるための施策				
要約	アンケート結果を踏まえ、工事期間から施設完成までのイベント企画を提案。子どもから大人まで参加可能なイベントを開催し、SNSも活用しながら周知を図ることで、施設に対する市民の満足度向上を目指す。				

番号	No.4	チーム名	めろでし	高校名	新居浜東高校
テーマ	「自分は大丈夫」を打ち破れ！命を守るマイ・タイムラインの普及				
要約	「自分は大丈夫」という正常性バイアスが避難の遅れや命を守る行動に繋がっていない点に着目。4つのミッションから成る防災スタンプラリーイベントを企画し、楽しみながら防災意識の向上を目指す。				

番号	No.5	チーム名	M&M`s	高校名	新居浜西高校
テーマ	うちの子を「守りたい」がタイムライン作成のきっかけに				
要約	「ペットを守りたい」という動機を活用し、マイ・タイムライン作成を自分事化できるのではないかとこの点に着目。ペットショップや保険会社と連携し、マイ・タイムライン作成によるインセンティブを付与することで、防災の自分事化を目指す。				

番号	No.6	チーム名	ARURU	高校名	新居浜高専
テーマ	「技術はある・経験がない」ー新居浜ものづくり産業のバトンをARURUがつなぐー				
要約	若者が地元で働く未来を描くための3つの「ない」の壁を分析し、3つの「ある」プロジェクトを提案。新居浜ものづくりかるたの作成や出前授業、アプリ開発などを通じ、継続的な体験型キャリア学習の展開を目指す。				